

記名標識のデザイン：基本的考え方

表示面のデザイン

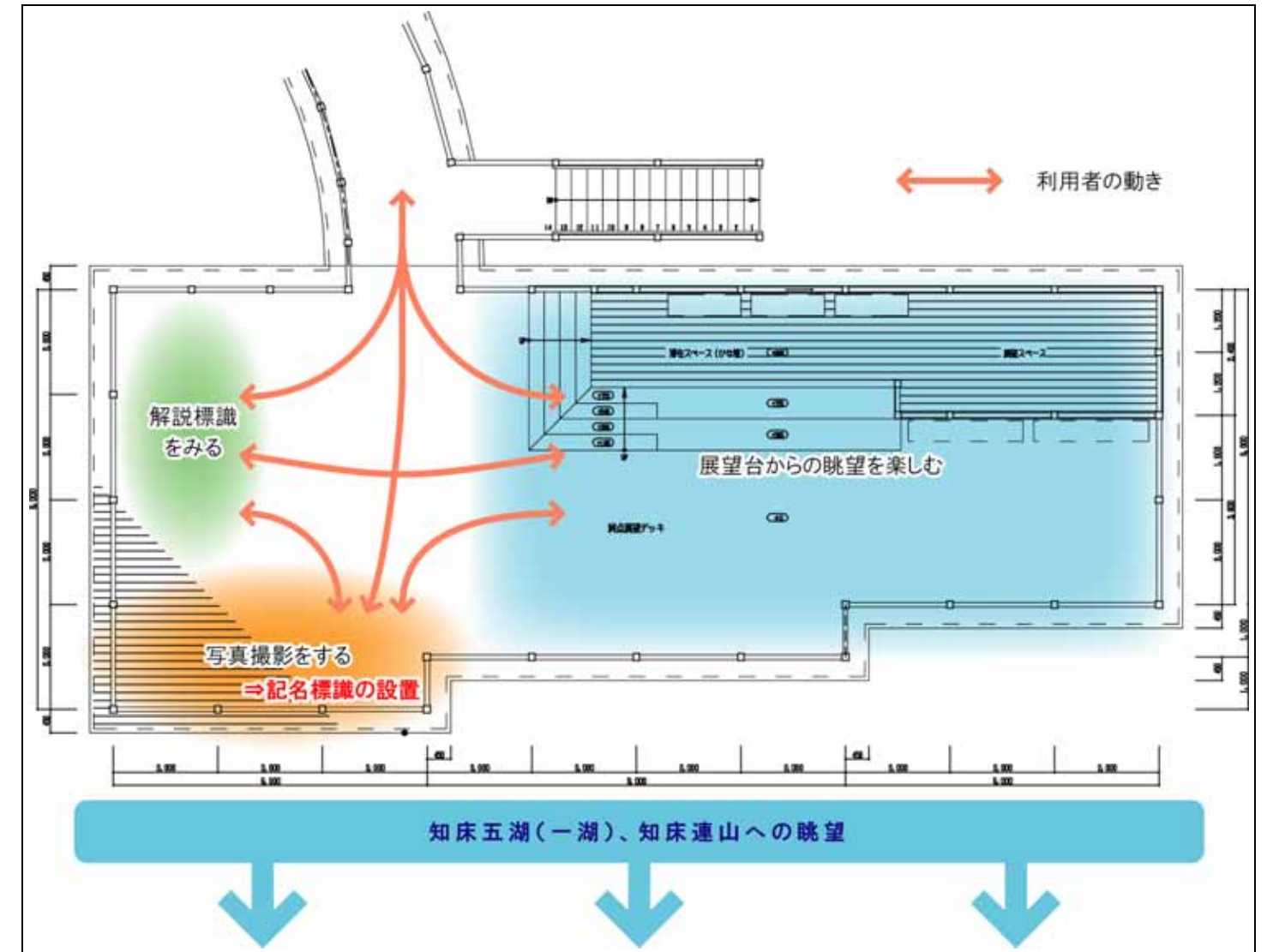
- 知床五湖を訪れた利用者が記念撮影の際に一緒に写るものと位置づける。
- 『知床五湖（一湖）』の文字、「知床世界自然遺産」の文字及びシンボルマークを配する。
- 環境省ロゴマークを配する。
- 日本語、英語を併記する。

形状・構造

- 背景となる景観（知床五湖（一湖）、知床連山）への眺望、木道及び展望台の手摺・手摺柱とのバランスを考慮し、水平 - 垂直を意識したシンプルな形状とする。
- 厳しい自然条件（積雪、雨・雪解け水、強風、気温変化等）への対応、施工性・市場性を考慮した形状・材質とする。
 - 外枠や支柱に、一般的に流通しているH形鋼、角形鋼管などの鋼材を用いることで、強度をもたせるとともに標識外形のボリュームを小さくする。
 - 茶褐色または焦げ茶と呼ばれる濃い色合いの茶色を基調とする。
 - H形鋼を利用する場合には、溝部分に自然木または再生木材（地域あるいは道産材を使用）による意匠を行う。
- 車イス利用者の目線及び写真撮影時のバランスを考慮した高さとする。
- 鳥のフンの付着による汚れを軽減することを勘案し、表示面は垂直に取り付ける。
- 床板に取り付けるタイプの場合、取付金物が見えない構造とし、足元をすっきり見せる。

配置

- 終点展望台に向かって木道を歩いてきた利用者の目に留まりやすい位置に配置する。
- 解説標識を見る利用者や眺望を楽しむ利用者との混在を極力回避できる位置に配置する。



終点展望台が完成した後、背景となる知床五湖（一湖）や知床連山の構図のバランス、大引・桁の位置を勘案し、最終的な配置を決定する。

記名標識デザイン案



総合案内標識・解説標識の表示面のデザイン：基本的考え方

表示内容

- 1版あたりの日本語解説文の文字数は200字程度とし、図・写真2枚程度使用する。
- 小学校中学年（3年生）以上を対象とした内容とする。
- 現在地を示す。
- 終点展望台及び駐車場までの距離を示す。
- 知床世界自然遺産シンボルマーク、環境省ロゴマークを表示する。

本検討で示す図・写真はあくまでイメージである。

今後、デザインを統一したイラスト等の作成、写真・イラストの利用権に関する手続き等を要する。

外国語表記

- 日本語・英語併記を基本とする。
- 利用にあたっての注意事項については、中国語（簡体字・繁体字）韓国語の表記も行う。

本検討では外国語への翻訳は行っていないため、今後、翻訳作業が必要である（表示面デザインイメージ内の英文は、すべて仮のもの）。



設置イメージ



- 外枠押縁：15×15 t1.5 アルミ鋼板加工
- 表示面：t1.5 アルミ鋼板、アルミ押出型材、合成樹脂塗装（ダークブラウン）
- 表示方法：高硬度・高耐候性印刷、プロテクト層 100 ミクロン

- 待避所での占有面積を抑えること、鳥のフンの付着による汚れを軽減すること等を勘案し、手摺部分に垂直に取り付ける。
- 木道に設置する解説標識は、周囲の景観との調和、車イス利用者の目線を考慮し、標識天端は木道の手摺・手摺柱とほぼ同じ高さとする。
- 厳しい自然条件（積雪、雨・雪解け水、強風、気温変化等）への対応、施工性・市場性を考慮した形状・材質とする。

解説内容との比較ができる標識の設置位置・設置方向となるよう、最終的な配置を決定する。